



第6回

海草支部

和歌山市支部

那賀支部

伊都支部

有田支部

紀州さんぽ散珠つなぎ

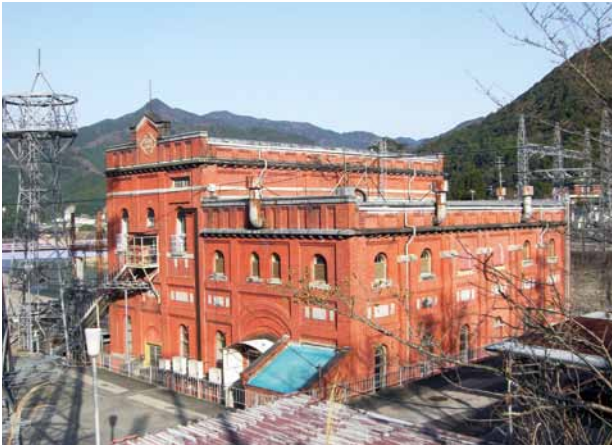
新宮支部

串本支部

田辺支部

日高支部

「日高奥の煉瓦造りの名建築」



20年ほど前までは桜の名所として多くの人たちが訪れた高津尾発電所、元地主に会うことができ当時の写真を見せていただき、お借りすることができました。

大正時代の工事ということでそのころの光景を自分なりに思いつつ大正時代にタイムスリップしてお話を伺いました。旧発電所の内部はコンクリートにより補強をしているようですが、外観は竣工当時のまま美しい赤レンガの建築で今でも事務所として使用されています。

高津尾発電所は日高郡日高川町(旧中津村)に大正4年(1915)に起工、大正7年4月に運転開始、赤レンガの発電所は91年もの長きにわたり電力の安定供給と共に旧中



津村のシンボルとして地域の住民らに親しまれてきました。当時は100万円の大工事であったとのこと。

建物の設計はイギリス人技師によるものといわれており、赤レンガもイギリスからの輸入品だそうです。赤レンガの搬入は、輸入品のため神戸港から貨物船で御坊港に輸送して陸揚げし、牛車で高津尾地区の資材集積所まで、集積所から発電所間は地域住民や子供たちも手伝い一束を4個く

りとして二束を一輪車に乗せて運搬し大人で一日50銭、子供も一日20銭もの当時では良い日当になったらしいです。

今では当時の桜も老木化して数は少なくなりましたが、新しい若木も育ち、毎年寒い冬を乗り越え春の日



高にかわいい花を咲かせ、私たちを楽しませてくれます。

日高支部 駒場敏男 中道哲也

